

日本赤十字社神奈川県支部現勢

令和6年4月1日現在

日本赤十字社の使命		わたしたちは、 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、 いかなる状況下でも、 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。	日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。
1949年のジュネーブ四条約締結国		196カ国	赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性 世界の赤十字社・赤新月社等 191社
区分 内容	日本赤十字社(全国)	神奈川県支部	
1 沿革	1877年(明治10年)5月 1日 博愛社設立 1887年(明治20年)5月20日 日本赤十字社に改称 1952年(昭和27年)8月14日 日本赤十字社法制定	1887年(明治20年)12月20日 日本赤十字社神奈川県支部設立 (当時は神奈川県委員部)	
2 名誉総裁・ 名誉副総裁	名誉総裁 皇后陛下 名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃華子殿下 三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃久子殿下		
3 会員 (令和6年3月31日現在)	個人 20.6 万人 法人 7.8 万法人	個人 1万1,597 人 法人 3,061 法人	
4 評議員	2,004 人	72 人	
5 代議員	223 人	6 人	
6 役員	社長 清家 篤 (常勤) 副社長 鈴木 俊彦 (常勤) 十倉 雅和 (非常勤) 理事 61 人 監事 3 人	支部長 黒岩 祐治 (神奈川県知事) 副支部長 首藤 健治 (神奈川県副知事) 監査委員 上野 孝 (県商工会議所連合会会頭) 古谷 幸治 (元神奈川県公営企業管理者・企業庁 小久保 篤 (元神奈川新聞厚生文化事業団専務理事・事務局長) 吉川 伸治 (地方独立行政法人 神奈川県立病院機構顧問) 参与 川名 勝義 (神奈川県福祉子どもみらい局長) 佐藤 泰輔 (横浜市健康福祉局長) 石渡 一城 (川崎市健康福祉局長) 若林 和彦 (相模原市健康福祉局長)	
7 国際活動	(1) 国際救援・開発要員派遣(令和5年度) 15 カ国 のべ 59 人 (2) 国際赤十字・赤新月社連盟出向 (スイス、マレーシア) 2 人 (3) 国際活動費 77.1 億円	(1) 国際救援・開発要員等派遣 0 カ国 0 人 (2) 安否調査 0 カ国 0 件 (3) 国際交流 派遣: 0 カ国 0 人 受入: 0 カ国 0 人 オンライン: 1 カ国 24 人 (4) 海外救援金受付 965 件 6,189万9,271 円 (5) 国際救援・開発協力支出額 500 万円 (ラオス、バングラデシュ、ルワンダ)	
8 国内災害救護	(1) 常備救護班 487 班 6,535 人 (2) 無線局 3,093 局 (3) 救護車両 2,206 台 (4) 赤十字飛行隊(特殊奉仕団) 95 人 (5) 災害等における救護員出動数 32,740 人 (6) 取扱義援金額 382億5,912万1,632 円 (7) 救援物資配分数(毛布・緊急セット等) 34,275 個	(1) 常備救護班 15 班 110 人 (2) 無線局 135 局 (3) 救護車両 73 台 (4) 防災ボランティア 377 人 (5) 火災・風水害・床上浸水援護世帯 276 世帯 (6) 取扱義援金額 2億5,846万4,860 円 (7) 配布援護物資(毛布・タオル・石鹸等の日用品) 274 個	
9 救急法等講習	(1) 救急法基礎講習 指導員 10,859 人 受講者 39,813 人 (2) 救急法 指導員 6,878 人 受講者 319,265 人 (3) 水上安全法 指導員 1,511 人 受講者 43,488 人 (4) 雪上安全法 指導員 216 人 受講者 491 人 (5) 健康生活支援講習 指導員 1,664 人 受講者 43,954 人 (6) 幼児安全法 指導員 2,254 人 受講者 62,330 人 計 指導員 23,382 人 受講者 509,341 人	(1) 救急法基礎講習 指導員 754 人 受講者 2,773 人 (2) 救急法 指導員 480 人 受講者 12,404 人 (3) 水上安全法 指導員 128 人 受講者 1,561 人 (4) 雪上安全法 指導員 16 人 受講者 0 人 (5) 健康生活支援講習 指導員 76 人 受講者 1,603 人 (6) 幼児安全法 指導員 130 人 受講者 2,315 人 計 指導員 1,584 人 受講者 20,656 人	
10 看護師等の教育	(1) 看護師 15 校 1,115 人 (2) 助産師 6 校 88 人 (3) 保健師 6 校 154 人 (4) 幹部看護師 1 校 120 人 (5) 介護福祉士 1 校 30 人	(1) 県内赤十字病院における奨学金貸与事業への助成 1,236 万円	
※一学年養成定員			

区分 内容	日本赤十字社(全国)	神奈川県支部
11 医療事業 (※1)平成17年4月1日から 横浜市立みなと赤十字病院が 開院－横浜市が設置し、横浜市 の指定管理者として、日本赤十 字社が運営 (※2)平成22年4月1日から 相模原市の指定管理者とし て、相模原市立診療所(青野原・ 千木良・藤野)を日本赤十字社 が運営。(平成22年3月31日ま で、3診療所は神奈川県立)	(1) 施設 病院 91 診療所 5 老人保健施設 4 介護医療院 5 (2) 病床総数 34,525 床 (3) 入院患者 966 万人(1日平均 2.6 万人) (4) 外来患者 1,571 万人(1日平均 6.4 万人)	(1) 横浜市立みなと赤十字病院(※1) (634 床、実働 634 床) 入院患者 182,525 人(1日平均 499 人) 外来患者 280,715 人(1日平均 1,155 人) 病床利用率 78.7 % (2) 秦野赤十字病院 (320 床、実働 262 床) 入院患者 70,238 人(1日平均 192 人) 外来患者 116,806 人(1日平均 481 人) 病床利用率 73.2 % (3) 相模原赤十字病院 (132 床、実働 132 床) 入院患者 32,356 人(1日平均 88 人) 外来患者 85,346 人(1日平均 317 人) 病床利用率 67.0 % 診療所(青野原・千木良・藤野(※2)) 外来患者 15,178 人(1日平均 62 人)
12 血液事業	(1) 血液センター 47 附属施設 169 (2) ブロック血液センター 7 附属施設・分室 5 (3) 車両 移動採血車 279 台 献血運搬車 761 台 (4) 献血者数 成分献血 156 万人 400mL献血 332 万人 200mL献血 13 万人 計 501 万人 (5) 供給本数 輸血用製剤 1,743 万本	(1) 血液センター(神奈川県) 1 附属施設(湘南事業所) 1 (2) 出張所(献血ルーム) 7 (横浜市東口、横浜駅西口第二、二俣川、川崎駅東口、溝の口、藤沢、海老名) (3) 車両 移動採血車 11 台 献血運搬車 39 台 (4) 献血者数 成分献血 114,949 人 400mL献血 208,095 人 200mL献血 10,238 人 計 333,282 人 (5) 供給本数 赤血球製剤 220,401 本 血漿製剤 64,670 本 血小板製剤 55,694 本 計 340,765 本
13 赤十字ボランティア (令和6年3月31日現在)	(1) 地域赤十字奉仕団 2,068 団 785,324 人 (2) 青年赤十字奉仕団 148 団 5,277 人 (3) 特殊赤十字奉仕団 615 団 27,268 人 (4) 個人ボランティア 11,517 人 計 2,831 団 829,386 人	(1) 地域赤十字奉仕団 51 団 18,648 人 (2) 青年赤十字奉仕団 5 団 266 人 (3) 特殊赤十字奉仕団 37 団 1,644 人 計 93 団 20,558 人
14 青少年赤十字 (令和6年3月31日現在)	(1) 幼稚園・保育所 1,759 校 135,962 人 (2) 小学校 7,095 校 1,912,030 人 (3) 中学校 3,465 校 967,635 人 (4) 高等学校 1,734 校 356,781 人 (5) 特別支援学校 222 校 22,157 人 (6) その他 141 校 36,118 人 計 14,416 校 3,430,683 人 指導者 281,583 人	(1) 幼稚園・保育園 6 園 558 人 (2) 小学校 16 校 3,979 人 (3) 中学校 33 校 8,942 人 (4) 高等学校 39 校 12,357 人 (5) 特別支援学校 5 校 1,024 人 (6) その他 0 校 0 人 計 99 校・園 26,860 人 ※一貫教育校は中学校・高等学校の2校種でカウント
15 社会福祉事業	(1) 乳児院 8 (定員 282 人) (2) 保育所 3 (定員 333 人) (3) 児童養護施設 1 (定員 40 人) (4) 医療型障害児入所施設 3 (定員 286 人) (5) 特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む) 8 (定員 773 人) (6) 障害者支援施設 1 (定員 50 人) (7) 視聴覚障害者情報提供施設 2 (8) 補装具製作施設 1 (9) 複合型施設 1 特別養護老人ホーム (定員 110 人) 介護老人保健施設 (定員 100 人) 高齢者グループホーム (定員 18 人) 障害者支援施設 (定員 10 人)	神奈川県ライトセンター(視覚障害者支援施設) (神奈川県指定管理者制度に基づき日本赤十字社が運営) ① 情報提供事業 ② 指導訓練事業 ③ スポーツ振興事業 ④ ボランティア育成事業 ⑤ 普及啓発事業
16 施設・職員数	区分 施設数 職員数(人) 本社 1 543 人 支部 47 689 人 医療施設 115 59,301 人 血液事業施設 228 5,775 人 社会福祉施設 28 1,218 人 計 419 67,526 人 (正規職員のみ)	日本赤十字社神奈川県支部 34 人 横浜市立みなと赤十字病院 1,252 人 秦野赤十字病院 460 人 相模原赤十字病院 264 人 神奈川県赤十字血液センター 401 人 神奈川県ライトセンター 29 人 計 2,440 人
17 会計	(1) 一般会計 本社 178 億 4 千万円 支部 190 億 1 千万円 (2) 医療施設特別会計 1兆2,159 億 6 千万円 (3) 血液事業特別会計 1,625 億 1 千万円 (4) 社会福祉施設特別会計 160 億 8 千万円 (令和6年度当初予算)	(1) 一般会計(支出) 日本赤十字社神奈川県支部 9億8,996万5,274 円 (2) 医療施設特別会計(収益的支出) 横浜市立みなと赤十字病院 229億9,380万8,643 円 秦野赤十字病院 72億83万1,869 円 相模原赤十字病院 36億6,479万7,096 円 (小計) 338億5,943万7,608 円 (3) 社会福祉施設特別会計(支出) 神奈川県ライトセンター 2億8,418万3,796 円 (令和5年度決算)

(特に断りのない統計数字等は、令和6年4月1日現在・令和5年度実績)